

外国語学部アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

外国語学部は、大阪大学の教育目標のもと、世界の諸地域の言語に関する教育を出発点とし、言語を基底として営まれる文化や社会について、理論と実際にわたって教授することを通じて、国際社会の様々な場面で通用する高度な言語運用能力と世界に関する幅広い知識を有し、異文化理解力をとおして人類と世界に貢献することのできる人材を養成することを目的としています。

この目的に沿って、外国語学部は、世界諸地域の言語、文化、社会に対する強い関心を持つ、次のような学生を募集します。

- (1) さまざまな文化背景を持つ人とコミュニケーションする能力を身につけたい人。
- (2) 世界諸地域の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。
- (3) 言語を十二分に駆使して、世界諸地域の文化や社会の研究をしたい人。
- (4) 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人。
- (5) 世界的規模の諸問題を解決するため、国際的な活動や協力を推進したい人。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れるため、一般選抜と総合型選抜の入試を行います。これに加えて、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、3年次編入学試験を実施し、グローバルで多様な学生を求めます。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査をとおして、国語、社会（地理歴史、公民）、理科、数学、外国語に関する知識と理解度を判定します。
2. 総合型選抜では、高等学校の調査書もしくは国際バカロレア資格証書・成績証明書、TOEFL等の検定試験の成績証明書、志望理由書や高等学校の長が作成する志願者評価書、志願者の多様な資質を証明する書類（高い語学力を証明する書や高等学校等での自由研究や課題研究の実績を証明する書類、海外研修や留学の事実を証明する書類）、さらに、小論文、口頭試問、大学入試共通テストをとおして、多角的、総合的に合否判定を行います。
3. 帰国生徒特別入試では、外国語と国語の筆記試験と口頭試問を実施し、外国語学部における学修に必要な外国語能力と論理的思考を身につけているかを判定します。
4. 私費外国人留学生特別入試では、日本留学試験とTOEFLの成績（一部の専攻を除く。）、英語と日本語の筆記試験および口頭試問をとおして、外国語学部における学修に必要な日本語能力と論理的思考を身につけているかを判定します。
5. 3年次編入試験では、筆記試験（志願する専攻言語）と口述試験をとおして、3年次編入に相応しい学力を有しているかを判断します。

注：上記の入試における英語の試験ではリスニングテストを行います（総合型選抜、私費外国人留学生特別入試の一部を除く）